ボランティアビューローだより

平成23年度のボランティア活動保険加入のご案内

この保険はボランティアの方が、活動中に事故にあってけがをしたり、対象者など第三者の身体や財物に損害を与え、賠償責任を負ったりした場合に支払われる保険です。（補償内容の詳細についてはパンフレットをご覧ください。）
補償期間は加入手続き完了日の翌日0時から平成24年4月1日0時までです。
※お問い合わせは鶴見区ボランティアビューローまで。

平成22年12月4日（土）におもちゃ図書館「たんぽぽ」のクリスマス会が開催されました。

34人の子どもたちとご家族が、手にプレゼントを持って次々と集まりました。前日にお母さんたちがクリスマス気分満点に飾りつけたお部屋が迎えてくれました。

前半は音楽遊びで太鼓をたたいたり、歌を歌ったり、音楽の先生から楽しい歌や演奏のプレゼントもありました。また、鶴見図書館から絵本の読み聞かせボランティアさんも来てくださいました。クリスマスにちなんだ絵本や、部屋を暗くして見た、ブラックパネルのパネルシアターがとても幻想的で、キラキラ光るパネルに子どもたちだけでなく、おとなもうっとりの時間でした。

今年も最後のお楽しみは、イオンリテール株式会社さんからのクリスマスプレゼントです。サンタクロースに扮して、トナカイを従えながら、子どもたちの目線で、一人ひとりに話しかけながらプレゼントを渡されました。

「お母さん、お父さんの言うことを聞いてお利口でいようね～」とサンタさんとお約束しました。4か月の赤ちゃんから中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんまで、子どもにとってサンタさんは特別の存在…夢のひと時を共有できて、おとなも幸せな時間でした。

スペシャルオリンピックス SPECIAL OLYNPICS ナショナルゲームが開催されました。

知的発達障がいのある人たちのスポーツの祭典が、11月5日（金）から7日（日）まで大阪府下8会場で開催されました。全国から集まったアスリートは1,046人、ボランティアは4,053人、総勢16,300人規模の大会でした。

鶴見区ボランティアビューローからも、延べ24人のボランティアさんが門真なみはやドームで活動されました。株式会社ユニクロさんから提供されたボランティアパーカーを着て、会場警備や物品販売、お弁当配布など、縁の下の力持ちでアスリートの熱戦を支えました。

スペシャルオリンピックスは日常的なトレーニングから世界大会にいたるまで、いつでも世界中のどこかでこの活動が行われているので「s」がついています。この大会の活動を終えて、「もっといろんな人に見に来てほしかった」「もっとPRして、知ってもらいたかった」という感想が聞かれました。ボランティアをしていて初めて知り合えた世界で、感動と勇気をもらった3日間でした。

ボランティアに関するお問い合わせは
鶴見区ボランティアビューロー ☎06-6913-7070 FAX06-6913-7676
●開館時間／午前9時～午後5時（日祝休館） ●担当／藪田

鶴見区社協だより

2011年3月
第44号

【編集・発行】社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会
〒538-0051 鶴見区諸口5丁目浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター内 ☎06-6913-7070 FAX06-6913-7676

福祉教育

鶴見区社会福祉協議会では、地域住民のみなさんの福祉に対する意識の向上に努めるとともに、誰もが安心して安全に暮らせるような、優しくあたたかい福祉のまちづくりの実現のために、学校や地域等と一緒に、福祉教育を実施しています。

内　容　車いすやアイマスクなどの体験学習から、障がいをもつ方やボランティアのお話、福祉や認知症の話など、学習や講座・研修の目的に合わせて、相談しながら決めていきます。

福祉教育実施までの流れ

福祉教育の依頼 ▶▶▶▶ 事前打合せ（依頼者側の要望提示（目的・内容・日程など） ⟷ 区社協側のサポートの提示） ▶▶▶▶ 福祉教育の実施

※必要に応じて、関係機関の紹介やコーディネートを行うこともあります。

福祉教育のようす

いつも利用している自動販売機を車いすで使ってみましょう！
使いやすいでしょうか？

車いすで街に出てみたら・・・
どんなものが見えるでしょうか？
車いすにとって便利なところ、不便なところ、車いすを使っている人の気持ちを考えてみましょう！

アイマスク体験と点字やユニバーサルデザインの触手体験。
牛乳パックの切り込みには、どんな意味があるかわかりますか？

認知症のお話。
“認知症ってなぁに？”
ということについて
学んでみましょう！

※平成22年度は、区内の小中学校や鶴見区の女性学級において、車いすやアイマスクの体験学習を行いました。

車いす体験では、「こんなに自転車が怖いとは思わなかった」「車いすに乗っていると、みんなに上から見おろされているような気分がした」、アイマスク体験では、「手引きをしてくれている友達がとても頼りになった」などの声を聞くことができました。
また、「自転車を置く場所を考えようと思った」「駅にもいろんな工夫がされていることがわかった」などの声も聞かれ、福祉教育は、人にやさしいまちづくりへとつながっています。

ご相談は、鶴見区社会福祉協議会 地域活動担当　☎06-6913-7070まで。

賛助会員を募集しています

鶴見区社会福祉協議会の事業は、補助金や共同募金配分金のほか、みなさまからの会費などにより成り立っています。
会員会費は安定した自主財源として、区社協、地域社協のより充実した事業に欠かせないものです。
どうぞ、事業にご賛同いただきご協力をお願いします。

年会費（4月～3月）
●個人　1口　1,000円
●法人　1口　10,000円
※口数に制限はありません。
※年間を通じて受付をしています。

回覧															

区社協だよりは、一部共同募金配分金により作成しています。